



# 認定書

国住指第2252号  
平成15年10月15日

日鐵建材工業株式会社

代表取締役社長 岡田明久 様

国土交通大臣 石原 伸晃



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第七号並びに同法施行令第107条第一号及び第三号（屋根：各30分間）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号

FP030RF - 0053

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

デッキプレート屋根

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

## 1. 構造名

デッキプレート屋根

## 2. 寸法

屋根の各辺の長さについては、構造計算等により構造安定性が確認できる長さとする。

## 3. 材料構成等

項 目		製 品 仕 様 等
主構成材料 (デッキプレート)	規格	JIS G 3352 (SDP1T、SDP1TG、SDP2、SDP2G 及び SDP3)
	厚さ (mm)	1.2 以上
	質量 (kg/mm・m <sup>2</sup> )	7.85 ± 0.05
	表面仕上げの種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表面仕上げ無し</li> <li>・ 溶融亜鉛めっき</li> <li>・ 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき</li> <li>・ 溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき</li> <li>・ 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき</li> <li>・ 溶融亜鉛-0.5%マグネシウム合金めっき</li> <li>・ 無機質系錆止め塗装</li> </ul>
	大きさ (mm)	山高さ：50 ± 1.5 働き幅：600+8, -2 長さ：最小 100、最大 12,000
	母屋芯相互の間隔 (mm)	3,200 以下
	支持方式	単純支持または連続支持
副構成材料	ねじ類	発射打込み鋲 規格：JIS A 5529、建築材料認定番号 MPIN-9001 または 9002 寸法 (mm)：φ 4.5 × 23.5 以上 ドリリングタッピンねじ 規格：JIS B 1055、JIS B 1059 または平成 12 年建設省告示第 1446 号に規定するタッピンねじ 寸法 (mm)：φ 5.0 × 19 以上
デッキプレートの幅方向の接合方法	留め付け間隔等	発射打込み鋲 留め付け間隔 (mm)：300 以下 ドリリングタッピンねじ 留め付け間隔 (mm)：300 以下 焼抜き栓溶接 溶接直径 (mm)：18 以上 溶接間隔 (mm)：300 以下
デッキプレートの施工方法		デッキプレートを施工する母屋芯相互の間隔が 3,200 mm 以下であることを確認する。デッキプレートを墨出し線に合わせて母屋に配置し、次のいずれかの方法で母屋に接合する。デッキプレートの長さ方向の相互は嵌合により接合する。 ①発射打込み鋲による接合 発射打込み鋲 (φ 4.5 × 23.5 mm 以上) でデッキプレートを母屋に留め付ける。発射打込み鋲の留め付け位置はデッキプレートの谷部とし、留め付け間隔は、幅方向が 300 mm 以下、長さ方向が 600 mm 以下とする。ただし、幅方向の嵌合部の谷部は、それぞれ母屋に留め付ける。

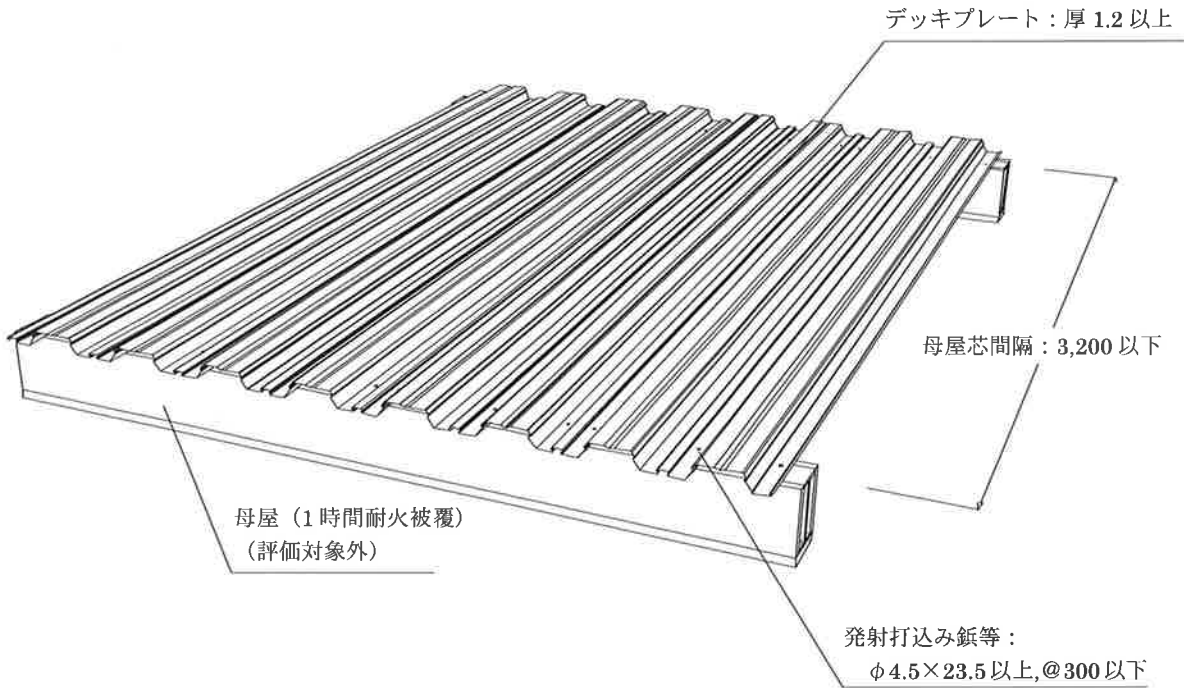
項 目	製 品 仕 様 等
デッキプレートの施工方法	<p>②ドリリングタッピンねじによる接合 ドリリングタッピンねじ(φ 5.0 × 19 mm以上)でデッキプレートを母屋に留め付ける。ドリリングタッピンねじの留め付け位置(幅方向の嵌合部を含む)及び留め付け間隔は、前記①と同様とする。</p> <p>③焼抜き栓溶接による接合 焼抜き栓溶接(溶接直径 18 mm以上)でデッキプレートを母屋に溶接する。溶接位置(幅方向の嵌合部を含む)及び溶接間隔は、前記①と同様とする。</p>

#### 4. 構造説明図

##### (1) 見取図

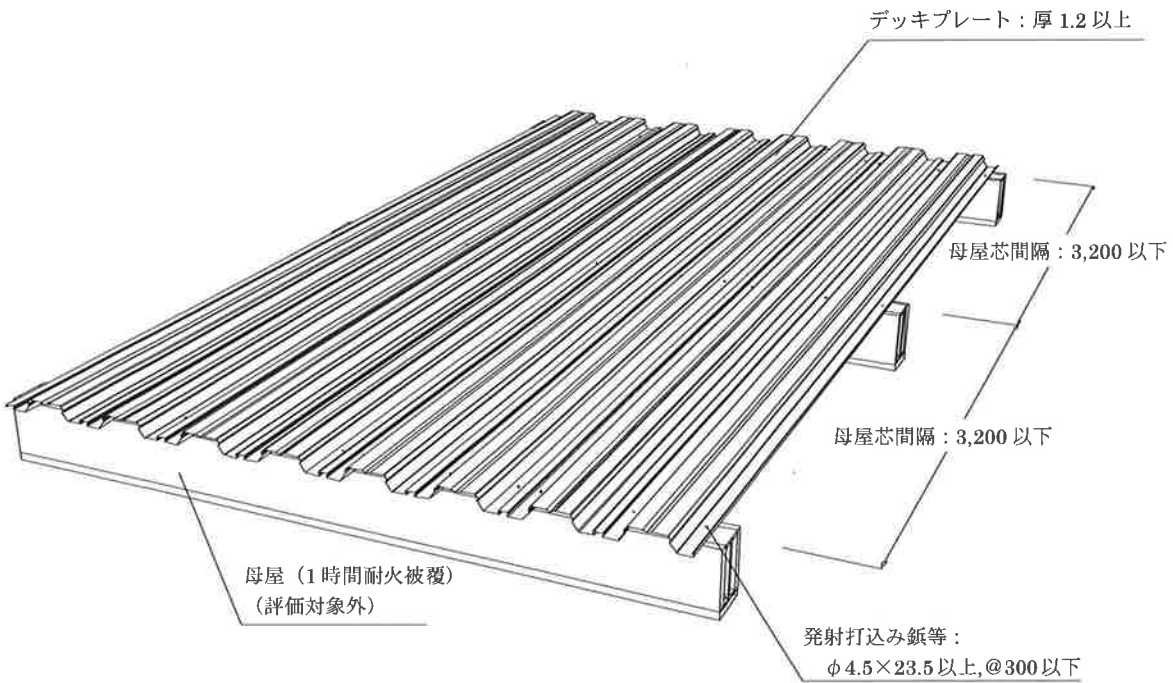
##### (1)-1 単純支持の場合

(単位：mm)



##### (1)-2 連続支持の場合

(単位：mm)



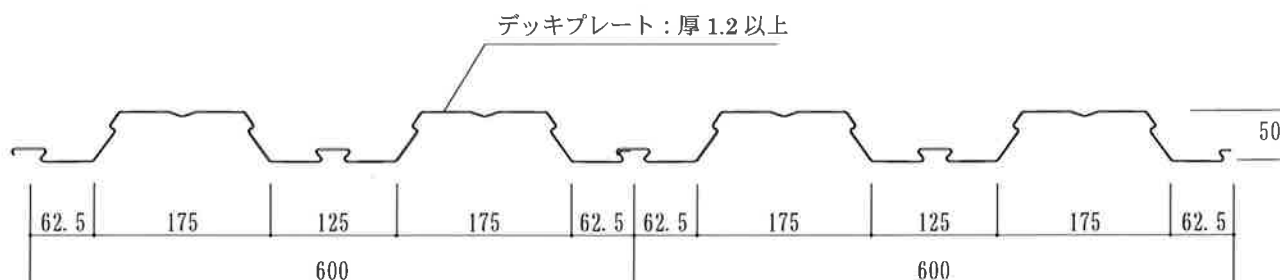
※母屋に耐火被覆材を施工する場合は、上フランジにも耐火被覆を施す。

(2) 断面図

(2)-1 単純支持の場合

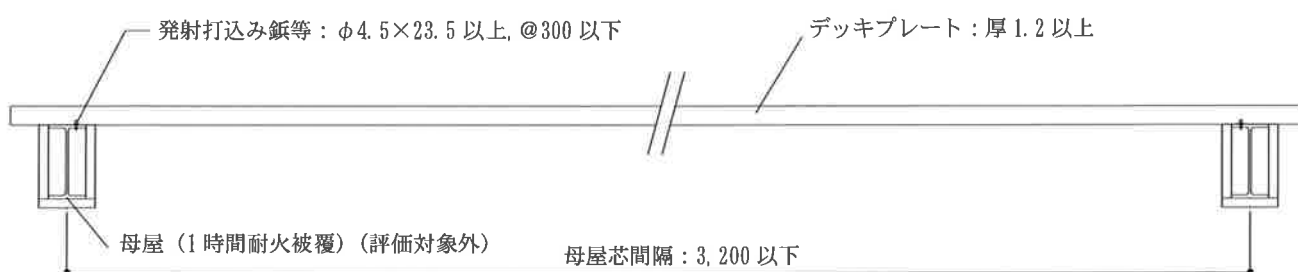
①幅方向断面図

(単位：mm)



②長さ方向断面図

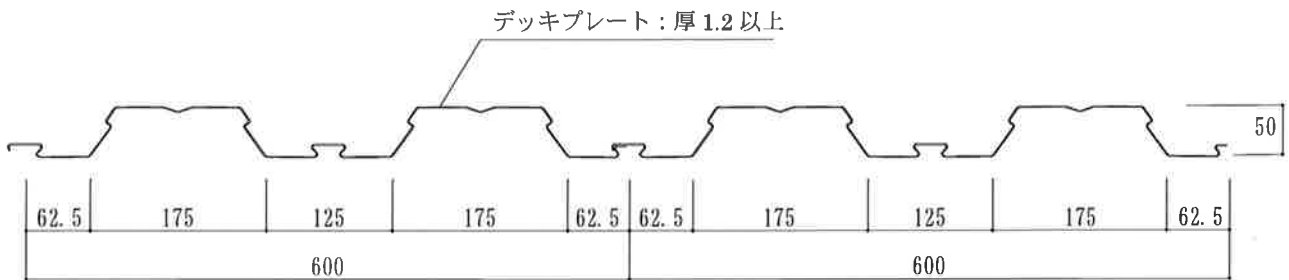
(単位：mm)



(2)-2 連続支持の場合

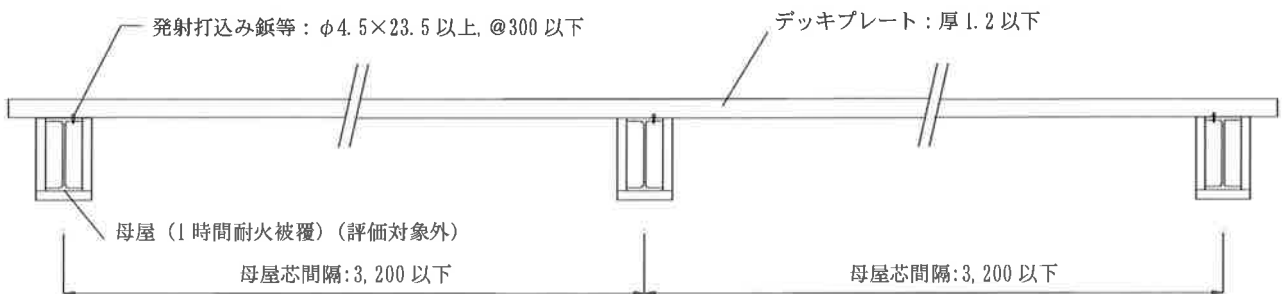
①幅方向断面図

(単位：mm)



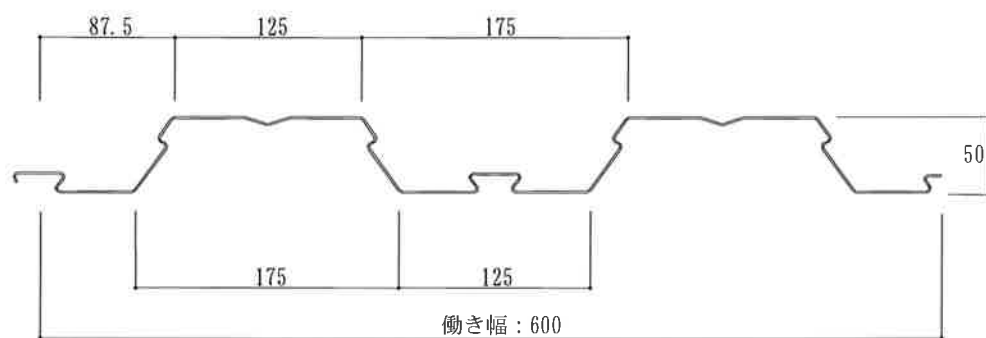
②長さ方向断面図

(単位：mm)



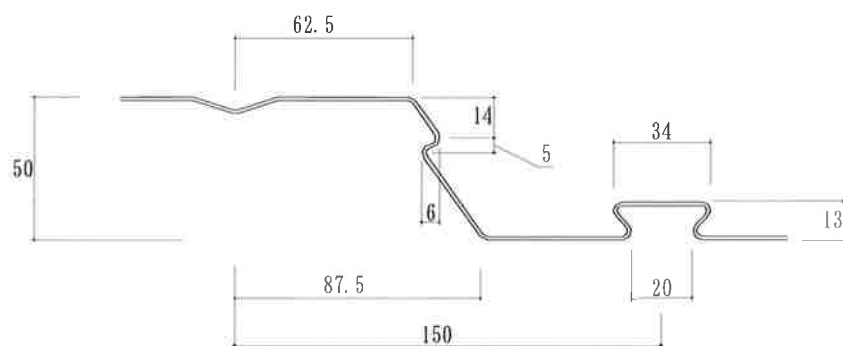
(3) デッキプレートの形状・寸法

(単位：mm)



(4) デッキプレートの詳細・寸法

(単位：mm)



## 5. 施工方法

### (1) デッキプレートの取付け

デッキプレートを施工する母屋芯相互の間隔が 3,200 mm 以下であることを確認する。デッキプレートを墨出し線に合わせて母屋に配置し、次のいずれかの方法で母屋に接合する。デッキプレートの長さ方向の相互は嵌合により接合する。

#### ① 発射打込み鋸による接合

発射打込み鋸 ( $\phi$  4.5 × 23.5 mm 以上) でデッキプレートを母屋に留め付ける。発射打込み鋸の留め付け位置はデッキプレートの谷部とし、留め付け間隔は、幅方向が 300 mm 以下、長さ方向が 600 mm 以下とする。ただし、幅方向の嵌合部の谷部は、それぞれ母屋に留め付ける。

#### ② ドリリングタッピンねじによる接合

ドリリングタッピンねじ ( $\phi$  5.0 × 19 mm 以上) でデッキプレートを母屋に留め付ける。ドリリングタッピンねじの留め付け位置 (幅方向の嵌合部を含む) 及び留め付け間隔は、前記①と同様とする。

#### ③ 焼抜き栓溶接による接合

焼抜き栓溶接 (溶接直径 18 mm 以上) でデッキプレートを母屋に溶接する。溶接位置 (幅方向の嵌合部を含む) 及び溶接間隔は、前記①と同様とする。

### (2) 母屋の耐火被覆

母屋に 1 時間の耐火被覆を施す。ただし、平成 12 年建設省告示第 1399 号第 4 第三号二の規定に該当する場合には、上記の耐火被覆は必要としない。